

旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信 (NO. 38)
平成 30 (2018) 年 7 月 1 日発行

今月は、6名の方からの投稿です。



今の世の中は、隠れていた問題が沢山出ているが、表鬼門になる。戦争が終わって 75 年で経っていると言うのですからね。だから今は辛抱するしかない。ある程度経つと新しい時代になるから全てのことは良くなるけどね。

(前山繁博)

同志社大学物語 — established by 1875 — (vol.1)

同志社大学看板学部は、法・心理・文学部英文学科である。

法律は、最初から難しいので、勉強する気はなかった。心理学部は文学部心理学科だった。心理学に興味がなかった。文学部英文学科は、そもそも英語が河合塾の広島大学オープンで、数学の方がよかった位で、英語は、おしてしるべしだった。結論は、数学のある、英数国社の商学部しかなかった。18歳の時、途方に暮れていたのだ。

(YY)



落語・相の手都々逸・ラーメン店

○「この店、行列が出来てるね」。

(有難うございます)

「ああ、イスが一個しかねえんだ」。

○「この豚骨ラーメン、旨いねえ」。

「ああ、店もポンコツだね」。

(岡本 祐子)

○文科省が小学校から道徳教育をしたり、心理学を学んだ教員が教育したり、同じ時に同じ心の働きがあるように学生を誘導している。

○つまり一人の人と付き合いば一人生人間関係で悩む事が全くないという文科省の教育方針である。

○中央省庁の組織と体制、つまり縦割り行政で今度は厚労省が地域移行定着支援事業を税金で組んでいる。

○他の省庁が仕事出来るよう無駄な税金をかけて事業を組んでいる。

○財務省が長期計画を立て増税を決意し各省庁の仕事を作っている。

○人の協力は実に必要で素晴らしい。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、7月17日(火)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.、Y.Y.